



アンドロゲンの減少による不調

テストステロン…アンドロゲンの内 95%を占める。

更年期障害

☆「疲れやすい」「やる気が起きない」などの症状…**アンドロゲン**の低下によって起こることがある。

☆症状…ゆっくりと**アンドロゲン**が低下し、症状の現れ方も緩やかで、更年期障害となるタイミングが分かりにくい。

☆原因…**アンドロゲン**の低下が原因で起こるものの他に、成長ホルモンや副腎皮質ホルモンの一種である糖質コルチコイドの分泌異常によって起こる。

☆**アンドロゲン**低下の原因…最大の原因はストレス(男性は闘争心が強く、弱みを人に見せることを嫌う傾向がある。いつの間にかストレスが大きくなっていることに気付かない。)
加齢や肥満。
無理なダイエット(テストステロンの原料であるコレステロールが不足して、分泌が低下することがある。)

☆「LOH 症候群(Late-Onset Hypogonadism):加齢男性腺機能低下症候群」
(アンドロゲンが原因となるもの)

- ① やる気が出ない、イライラする、集中できない、眠れないなどの心の症状
- ② 肩こりや腰痛がひどくなった、体がほてる、耳鳴りがするなどの体の症状
- ③ 性欲がない、勃起力が弱くなったなどの性関係の症状

